

A man is but the product of his thoughts.
What he thinks, he becomes.

人間はその人の思考の産物にすぎない。
人は思っている通りの人間になる。

——マハトマ・ガンジー



◆ 萌学舎卒業生の「わが校」紹介 城北埼玉高校 2014年卒 鈴木 遼也くん

(朝霞五小 2008年卒 学習院大学文学部 1年)

僕が通っていた城北埼玉中学・高等学校の紹介をします。男子校で埼玉県川越市にあります。学校周辺は田畑で囲まれた自然が豊かです。東武東上線土曜線福岡駅・川越線南古谷駅・西武新宿線本川越駅の3方面からスクールバスが出ています。どの駅からもバスで10分以上かかるため通いづらいかもかもしれません。しかし、グラウンドは広く、体育館、プール、武道館など運動する設備は整っていると思います▼勉強面に関してですが、授業はもちろん充実した内容で、放課後の補習もしっかりあります。理系科目の指導が素晴らしいと思います。中学生は基礎的な内容の補習が中心に行われています。高校生は基礎～応用まで様々なレベルで補習が行われています。夏期講習も各学年行われており、勉強習慣をつけるには最適だと思います。勉強合宿は高校3年生の夏と正月に行われています。参加は任意ですが、良い入試結果を出した生徒が多いように感じられます▼進路指導ですが、中学生は夏休みに三者面談が、高校生は定期テスト終了後に担任との面談があったと記憶しています。様々な進路志望者がいるなかで適切な指導をしてくれたと思います。定期的に座談会が開かれ、受験について生の声を聞くことができました▼学校の雰囲気も大変よかったです。先生もフレンドリーな方が多く様々な話をしました。また、卒業後も中学校・高校の友人とは頻繁に会うので、一生の友達・仲間をつくることができます▼通って良かったと思える学校なので、是非検討してみてください。

◆ 学校説明会報告(裏面には城北埼玉,西武文理,狭山ヶ丘,豊南の報告があります)

【開智中学・高校】^{かいち}東岩槻駅から徒歩15分のところにある共学の進学校です。乗り換えが多いためかなり遠いイメージでしたが、実際には北朝霞から1時間強で着きます。校舎は改修を進めている途中で、来春には完了します▼今年度の大学入試では、国公立の合格が県内の高校で4番目に多かった(含一貫部)そうですが、「これは早慶の合格数が伸びず、第一志望の早慶を落した生徒が国公立を受けた結果に過ぎないので、何の自慢にもならない」と、校長先生が話していました。来年度入試では早慶の合格者を増やし、東大も高等部だけで4名の合格を出すということでした▼コースはS類とD類の2つです。S類は難関国公立を目指すクラスで、2年次からはT(東大)コースとSコースに分かれます。S類からの早慶合格者を増やすために、すでに科目別に対策をしているということでした。また、成績が上位でも、

東大ではなく京大を目指すためにあえて T コースではなく S コースを選び、京大に合格した生徒もいるそうです。D 類の D はデザインの D で、生徒が自分の志望校にあったカリキュラムを組める（デザインできる）ということです。全体として、生徒の志望校合格のために何が最良かをよく考えている印象を受けました。また、夏期などの講習は予備校の 5 分の 1 程度の費用であり、3 年次には月曜から木曜の放課後に 180 分の特別講習（無料）を行っているということで、実際の指導も手厚いようです。通学に多少時間がかかることを許容できるという方にはオススメの学校です▼なお、難関私立の実際の合格者数は、発表されている延べ人数の 3 分の 2 から 4 分の 3 程度です。常勤の先生は 43 名、非常勤の先生は 20 名で、予備校や塾に通う生徒は少ないそうです。入試は、単願・併願に関わらず推薦基準を満たしていなくても合格する可能性はじゅうぶんにあります。（入部）



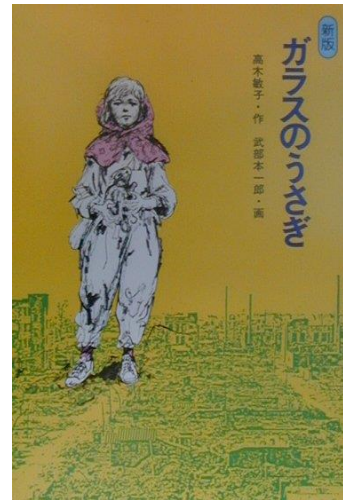
夏の蔵めるこの一冊

加藤 国夫

夏期講習最終日 8 月 30 日、帰宅すると沢山の本が東ねられ廊下に出されていた。大学生の次女が数日前から部屋の大掃除をしているのである。捨てられようとしていた本の中の一冊がふと目に留まる。——『ガラスのうさぎ』。何となくコレだけは安易に捨ててはならないような気がした。

『ガラスのうさぎ』 高木敏子 (金の星社)

『ガラスのうさぎ』はフィクションではありません。作者の高木敏子さんが実際に体験したことです。昭和 18 年(1943 年)、小学 5 年生の「わたし」は毎日のように出征兵士を送りに行っていました。食料や衣料品も配給制度となり次第に困窮していき様子が描かれています。二人の兄は志願兵として入隊し、父は軍の命令で技術指導者として満州に派遣されました。病弱な母と「わたし」と二人の妹だけが東京に残されます。「わたし」はいろいろと母から頼りにされます。特攻隊員として外地に出発する兄との最後のお別れに母の代わりに「わたし」は一人で大阪まで行くことにもなります。昭和 19 年(1944 年)8 月満州から父が戻り、「わたし」と妹たちは神奈川県二宮町に疎開することになりました。昭和 20 年(1945 年)2 月、妹たちは母親に会いたい一心で疎開先から勝手に東京に戻ってしまいます。そして、3 月 10 日の東京大空襲……。自宅の焼け跡から、ぐにゃぐにゃになったガラスのうさぎの置物が出てきます…。



ガラスのように透明で、普段は気にも留めないような存在。ぐにゃぐにゃになって初めてその有難さに気づくものなのかもしれない。8 月 30 日は連合軍最高司令長官マッカーサー元帥が厚木飛行場に到着した日でもあった。

※ここで紹介された本は萌学舎文庫（自習室の本棚。2 週間貸出）にあります。

◆ 行事予定

- 10/5 中 3 北辰テスト
- 10/13 小 5, 小 6 首都圏模試
- 10/10~17 中間テスト対策週間（中学ごとに試験対策授業をします。詳しい日程表は後日配布します）
- 10/21~26 小 6, 中 3 進学相談会（ご父母と担当教師、マンツーマンの面談です）
- 11/2 第 6 回中 3 北辰テスト(10/2~10/11 までに受験料 4400 円を持ってきてください。今回の偏差値も入試相談会の貴重な資料となりますので必ず全員が受験してください)

【編集/加藤】

◆ 学校説明会報告

【城北埼玉中学・高校】現在の森泉秀雄校長が赴任し、定員割れしていた本校の学校改革に取り組んでから4年目に入りました。同校長は大宮高校の東大合格者数を倍増し、請われて同校にやってきたやり手です。今春の入試では、高校は定員を満たしましたが、中学は5人の定員割れという状況でした。様々な学校改革の他、教員も毎年10人前後を入れ替え、生徒・父母にとってより良い学校になる努力が続けられています▼具体的にはこれまで午後6時だった最終のスクールバスを8時とし、放課後補習や自習室の活用を進めることや、インターネットを利用し生徒への教材・資料や職員のプリントなどすべてを家庭に公開し、プリントアウトもできるようにしたことなどが今年度の新しい取り組みです。作成したプリントを他の教員も見られることから教員同士の切磋琢磨も促す狙いもあります▼中学は入学時点では特進クラス等のクラス分けはありません。生徒の可能性を広げるためです。中3からは選抜クラスができ、高校では3つのレベル別のコースに分かれます。国公立大学を目指すのが同校の大きな方針です。今春の大学合格実績は東大3名、国立医学部3名をはじめとして、国公立大学に現浪合わせて40名が合格しました。難関私立大の現浪合わせた合格者のべ人数は、早稲田は39名、慶応は18名、上智は15名です。早稲田の実合格者数は20数人ということです。卒業生は180人と公立高校のほぼ半数ですからまずまずの実績と言えます。浪人率は45%で、県立川越より多く、改善が望まれます▼部活の加入率は80%です。全国大会常連の少林寺拳法部など部活動も盛んです。校舎は30年前のままで古さを感じますが、耐震改修工事が今年の9月に完成します。教員は82名中65名が専任です。通塾率は高校3年になると80%近くになるそうですが、学校の指導を手厚くし、出来るだけ減らしたいそうです▼学校改革道半ばの同校ですが、確実に良い方向には向かっていると思います。(下山)

【西武文理中学・高校】共学の進学校です。川越駅からスクールバスで25分程度の時間がかかりますが、校舎は綺麗ですし、敷地が広く、グラウンドが8面、体育館が2棟あり、のびのびと過ごすことができそうです▼説明会は、各先生が英語で自己紹介するなど楽しいものでしたが、授業内容や進学実績などの話はありませんでした。生徒がローマ法王に拝謁を賜った、ノーベル賞受賞者を招いて講演をしてもらった、ALTがハーバード大学院卒である、敷地内に有名芸術家の手になる彫刻が多くある、といった話がメインで、「エリート教育」「本物に触れる」ということを強調していました。西武文理といえば、とにかく勉強第一、実績第一というイメージでしたが、校長先生もお年を召して、少し雰囲気が変わってきたのかもしれない▼説明会の会場となった建物には、大きく「東大合格10名目標」と書かれていましたが、2014年度入試の東大合格者は1名です。同じく共学校の栄東は現役だけで7名合格(卒業生数は栄東の方が少ない)ですから、ライバル校と呼ぶには差が開き過ぎた感があります(推薦基準にもかなり差があります)▼共学の進学校が希望で、同校の「エリート教育」が気に入れば、良い学校だと思います▼なお、中学入試では一貫クラスと選抜クラスの入試があり、選抜クラスの場合は高入生と混ざります。上位クラスになるほど専任の先生が授業を担当する率は高くなります。また、多くの生徒が塾や予備校に通うということでした。

(入部)

【狭山ヶ丘中学・高校】狭山ヶ丘中学・高校は、入間市にある私立の共学校です。2013年より中学部が開校しました▼狭山ヶ丘といえば、まずは校長である小川義男先生です。小川校

長は1996年に狭山ヶ丘の校長に就任し、底辺校だった同校を現在の進学校へと改革させました。『あらすじで読む日本の名著』など他数のベストセラーをもつ小川校長は、80才を超えた現在も授業の現場に立ち続けます▼小川校長の凄みは、「当事者」であり続けることです。例えば、狭山ヶ丘には「難関私立突破支援タスクフォース」と呼ばれる大学入試対策のゼミがあります。1グループ12人という少人数。全部で6グループで構成され、そのうちの1つのグループを、小川校長が自ら担当します。校長自身が、他の5人の先生と完全に対等な立場、比較可能な場所に身を置いている、というのはすごいことだと思います▼このゼミは、狭山ヶ丘の面倒見のよさの一例です。去年東大に合格した生徒は予備校に通わず、授業とゼミだけで勉強をしたそうです。狭山ヶ丘の現役合格率は9割近くあり、学校の指導が手厚いことを感じさせます▼ここまで順調に伸びてきた狭山ヶ丘ですが、ここ数年は進学実績の伸びが止まっています。特に早慶上智が下がっており、小川校長も「一種の停滞状態」にあると認めていました▼それでも同ランク帯の公立高校と比べればずっと上です。例えば、和光国際とは卒業生の人数は1人しか違いませんが、和国が国公立大学合格23人に対して、狭山ヶ丘は32人。早慶上智は、和国の8人に対して狭山ヶ丘は27人です▼また、今年から推薦基準が少しだけ下がります。狭山ヶ丘には去年まで、スポーツが得意な生徒を集めるための「IV類」と呼ばれるコースがありましたが、それが廃止され、代わりに一つ上のコース「III類」の基準が下がります。和国などよりも確実に入りやすくなりました▼このあたりから通うと距離の問題がややあります。私は、志木駅から45分ほどかけて西武新宿線入曽駅に行き、そこから20分ほどスクールバスでゆられて学校につきました。川越駅からスクールバスで40分というルートもあります。いずれにせよ通学時間は1時間を超えるでしょう▼中学から通わせるとすると、この距離の問題がちょっと大きい気がします。高校生なら1時間ぐらいの通学時間なら許容範囲かと思います。公立の併願校として、あるいは第一志望校にする価値のある学校として、狭山ヶ丘はお勧めできる学校です。(角)

【豊南高校】 有楽町線「千川駅」下車、徒歩10分です。1942年創立。2004年には男女別学制から共学へ移行しています。70周年記念行事として工事を進めていた第二校舎と体育館が平成27年秋に完成します。都内生が8割以上を占めますが、県立朝霞西や朝霞の併願校として利用する人もいます。併願の目安(偏差値)としては、特進コースが60、選抜コースが56、進学コースが52です。去年は入学者数が167名でしたが、今春は274名に伸びました。広報担当の先生は着任して2年目だそうで、積極的に塾訪問などをした結果なのではないかとのことでした▼2008年より完全週6日制に戻し、4ターム制を採用しています。第1タームは4/8～6/26、第2タームは7/1～10/9(夏休みは8/1～8/24、夏期講習は8/12までありますが、1講座あたり教材費として1000円程度かかります)、第3タームは10/15～12/22、第4タームは1/8～3/24となります。これには1年間を通して生徒の生活リズムを安定させる目的があります。また、「伸学システム」という、自学自習の姿勢を身につけさせるためのしくみも作っています。たとえば、インターネットによって約2600講座を配信していて、学校でも自宅でも勉強できるようになっています。中学英語の講座が最も人気があるとのことでした▼進路先は4年制大学が76%、専門学校・短大が20%、浪人その他が4%となっています。ここ2年ほど国公立大(茨城、宇都宮、埼玉、宮崎など)への進学が4～5名となっています。多くは「大東亜帝国」(大東文化、東洋、亜細亜、帝京、国士館)に進学しています。通塾率は把握していないとのこと。AO入試や推薦入試が多くなっています。専任の教員は40名、非常勤も40名ほどとなっています。(加藤)